

第2回LSP講演会

ゴールドマン・サックス社

居松秀浩さん



ニューフロンティアへの挑戦

意志を持った楽観力とダイバーシティを武器に

▲居松さんは終始笑顔で講演された。

居松さんは講演のなかで「どうすれば人生が面白くなるのかを考えてほしい。できない理由ではなくできる理由を探すとよい」と話された。

また居松さんは本校野球部にトラクターを贈呈され、講演後にその贈呈式が本校校長室で執り行われた。

居松さんは本校生の印象を「自分が高校生だったころと違い、話をよく聞いてくれていて真面目だと思う」と微笑まれた。そして自身の高校時代を振り返り「良い生徒ではなかった。もつと部活などに

2月2日に本校体育館で第2回LSP講演会が行われ、居松秀浩さんが講演が行われた。居松さんはアメリカに本社を置く金融企業ゴールドマン・サックス社の金利トレーディングを統括する日本人初の共同責任者で、「ニューフロンティアへの挑戦、意志を持った楽観力とダイバーシティを武器に」と題して講演された。



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

新聞部

彦根市金亀町4番7号

一生懸命取り組み、高校生活を最大限楽しんでおくべきだった。その後悔があったために、大学以降すごく楽しんだ」と明かされた。

また今後必要とされる学びについて「これからは知識ではなく、論理的思考が大切になってくるので、数学がやはり大事になってくる。また学校の科目にはないが『コーディング力』『プログラミング力』がもつと身近に取り入れられるべきである。それらは海外では必須になってくる力なので、自分で勉強をしておくことよい」と熱弁された。また勉強の始め方について「自分が興味を持ったことを深く掘り上げていくと、それが勉強の

▲居松さんは野球部員とトラクターの目録を手にして写真撮影をされた。



▲居松さんは海外の大学への入学を勧められた。



きつかけになる場合がある。たとえば『株式投資』だ。株価がどのように動いていくかはその時々々の社会情勢が関係している。中国と日本がもめていたとすると、その原因は日中の歴史が関係する事が多い。そこから歴史の勉強が始まる。このような形で始めると熱中しやすい」と説明された。

最後に本校生徒に向けて「君たちがすごく頑張っている様子がアメリカにも伝わってくる。そのままの調子で今後も頑張り続けてほしい。インターネットが普及した現代では、田舎でも世界中につながる事ができ、田舎のことを世界に発信することができる。みなさんにはローカルな彦根を世界に発信するともっと、その中心の責務を担ってほしい」とメッセージを送られた。